

ACANTHUS NEWS



平成16年 **2004.5**
月刊アカンサスニュース
金沢大学広報紙 第90号

TOP NEWS

21世紀を担う自覚をもって 充実した青春の時に刻め —平成16年度入学宣誓式—



式典会場に次々と入場する
新入生

金沢大学フィルハーモニー管弦楽団による祝典演奏「威風堂々」

4月7日、金沢市観光会館で平成16年度金沢大学入学宣誓式が、また、医学部十全講堂で金沢大学大学院入学宣誓式が举行された。入学者は、学部生1,859名、大学院生918名、専攻科5名、別科27名の計2,809名。林学長は「21世紀を担うのは自分たちであるとの自覚をもって充実した青春の時に刻んでいただきたい」と新入生に告辞した。

学長告辞の全文は、本学ホームページに掲載

<http://www.ad.kanazawa-u.ac.jp/president/2004nyu-gaku/nyu.html>

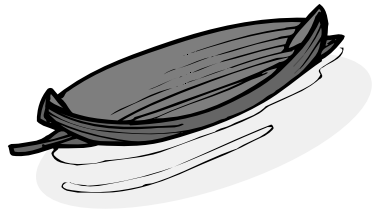
平成16年度 金沢大学入学者数			平成16年度 金沢大学大学院入学者数		
1	学部		文 学 研 究 科	修 士 課 程	31名
	文 学 部	179名	教 育 学 研 究 科	修 士 課 程	43名
	教 育 学 部	226名	法 学 研 究 科	修 士 課 程	9名
	法 学 部	199名	経 済 学 研 究 科	修 士 課 程	10名
	経 済 学 部	215名	医 学 系 研 究 科	博士前期課程	72名
	理 学 部	197名	自 然 科 学 研 究 科	博士前期課程	489名
	医 学 部	303名	医 学 系 研 究 科	博 士 課 程	62名
	薬 学 部	78名	医 学 系 研 究 科	博士後期課程	26名
	工 学 部	462名	社会環境科学研究科	博 士 課 程	14名
	合 計	1,859名	自 然 科 学 研 究 科	博士後期課程	119名
2	専攻科		法 務 研 究 科		43名
	特殊教育特別専攻科	5名	合 計		918名
3	別科				
	養護教諭特別別科	27名			

巻頭言

金沢で仕事をする喜び，神様への感謝



理事・副学長（事務局長）
朝倉 信裕



この2月，事務局長として着任し，伝統ある金沢大学で
仕事ができますことを，大変光栄にうれしく思っております。
この2ヶ月あまり，事務局長として，事務局が学内に
において信頼される状態にあるか，そのために事務局各課が
きちんと仕事をこなしているか，そして事務局職員が健康
で働いているか等を気にしながら過ごしてまいりました。
この間，職員全員本当によくやっていただきました。なん
とか法人として出発できましたのもそのおかげです。心か
ら感謝いたしております。

4月の法人化と同時に，理事・副学長兼事務局長となり
ました。理事としての職務を誠実に遂行するのは当然とし

て，従来どおり事務局長として，大学の充実発展のため，
事務局一丸となってどうするべきかを考え続けてまいり
ます。事務職員の責任者としての立場を忘れずに，仕事に
全力投球していくことで金沢大学の充実発展に尽します。

これまで，私は紙切れ一枚で各地に赴任してまいりまし
た。人事は人が決めることですが，私はいつも神様が決め
てくださったと思うことにしています。行く先々で，尊敬
できる方，素敵な方に巡り会いますが，その組み合わせは
人事を決めた人には予想もつかないことであるからです。
金沢で早くもいい出会いがありました。神への感謝でいつ
ぱいです。

目

次

21世紀を担う自覚をもって充実した青春の時を刻め		
一平成16年度入学宣誓式	1	ウォータージェット学会論文賞
金沢で仕事をする喜び，神様への感謝	2	日本機械学会北陸信越支部
工学部編入学入学式	3	「貢献賞」及び「優秀講演賞」
法科大学院がスタート	3	日本機械学会賞（論文）
薬学部生が新校舎で勉学開始	4	春の叙勲（本学関係分）
教養的科目「ゆったり湯学」が人気あつめる	4	タイ友好親善団が来学
学生が「長町朝市」に参加	4	第55回暁烏記念式・記念講演
いしかわシティカレッジでの受講広がる	5	医学系研究科に高峰譲吉博士ゆかりの桜を植樹
16年度MOT科目開講	5	金大生協が本学に30万円を寄附
角間ランチョンセミナー毎日開講	5	ミニ講演 ややこしや～ややこしや～
角間キャンパスに		一双子が出てくる文学作品の楽しさ
金沢大学創立50周年記念館（仮称）を整備	6	公開講座
幼稚園児，馬とふれあい	6	安全衛生講習会
「MEX金沢2004」に出席	7	新規採用者オリエンテーション
「フロンティア科学研究機構」構想を紹介		20年以上前の農法を再現！北谷に「苗代」
一平成16年度第1回先端研究フォーラム	8	一角間の里山自然学校
世界の論文引用動向ランキング		角間里山ゾーンに入口看板・道標を設置
国内16位，世界347位	8	編集後記

新 学 期

工学部 編入学入学式

4月6日、平成16年度工学部編入学入学式及びオリエンテーションが実施され、編入学生38名が出席した。

岡島厚工学部長のあいさつの後、山崎光悦教授からこれからの教務・学生生活等に対する諸注意があり、また、学科別のオリエンテーションが行われた。

あいさつする岡島工学部長
＝工学部秀峯会館中会議室



法科大学院がスタート

4月6日、4月に開校した大学院法務研究科(法科大学院)の看板除幕式がとり行われた。本学の法科大学院は、「地域に根ざした法曹教育」を行うことを基本理念に、地域に貢献する法曹人の育成を目指している。今年度は定員40名に対し、修業年限3年の標準コースに41名、同2年の短縮コースに2名の計43名が入学した。

除幕式であいさつした畑安次法務研究科長は、「2年後、3年後の司法試験の合格に向け全力で取り組んでいく」と決意を述べた。また、林勇二郎学長は「大学全体を先導する研究科として努力を。全学を挙げて応援する」と激励した。

また、4月8日には法務研究科のオリエンテーションが開かれた。畑研究科長のあいさつに続き、北陸3県弁護士会を代表して前福井弁護士会会長の野坂佳生同研究科教授と、金沢大学法曹会の山腰茂幹事長が、新入生を激励した。



関係者による除幕＝教育学部棟玄関



法務研究科のオリエンテーション
＝文・法・経済学部301講義室

新 学 期



オリエンテーションに臨む学生
＝薬学部プレゼンテーション室



アカデミックプロムナード
で談笑する学生

薬学部生が新校舎で 勉学開始

薬学部と自然科学研究科の授業が新学期から角間の自然科学棟新校舎で始まった。4月9日に開かれた薬学部の新入生オリエンテーションで、石橋弘行薬学部長は「君たちは、この新校舎で学ぶ初めての学部生となる。設備の整った環境で勉学に励んでほしい」と述べた。

新校舎には、勉学や休憩の場にとアカデミックプロムナード、ラウンジ、リフレッシュルームなどが設けられている。

学生が「長町朝市」に参加

4月から開講されている教養的科目「地理学ゼミナール」で4月25日、学生が長町朝市に参加し、地域の住民らと交流した。この授業は、地方都市の都心空洞化について学び、住民主体のまちづくりに参加することによって、そのコミュニティを深く学ぶことを目的に企画されたもので、今年は「長町朝市」に焦点をあてている。この日は朝市参加の後、まちづくり事務局前代表の中野成昭さんから「長町学」の講義を受け、また、地域の人の案内で長町を探索した。



長町探索



田崎教授の講義に興味深く聴き入る学生＝総合教育棟B1講義室

教養的科目「ゆったり湯学」が 人気あつめる

16年度の教養的科目として新設された総合科目「ゆったり湯学」が、報道機関にも紹介され、学生の人気を集めている。4月16日に行われたガイダンスでは、この科目のコーディネーターを務める自然科学研究科の田崎和江教授が、「角間で温泉掘削の計画もある。温泉の研究を低迷が続く加賀温泉郷の街おこしにつなげたい」と意気込みを語った。授業では、7月4日に受講生と担当教員らが片山津温泉を実地見学し、実際に入浴してまとめをする計画が紹介された。

いしかわシティカレッジでの 受講広がる

4月12日から、いしかわシティカレッジでの前期授業が始まった。前期に同カレッジで開講したのは、本学提供の4科目を含め23科目（うち2科目は閉講）。受講者は、5月11日の集計時点で学生144名、社会人43名と、昨年後期の学生97名、社会人2名と比べて増加している。今期から、単位取得を希望しない社会人に、手続きの簡単な聴講生制度を創設したことにより、社会人の受講が増えた。受講者の増加により、各大学の学生の履修の幅が広がり、異なる大学の学生間や学生と社会人の交流が進むことが期待される。



4月22日、本学提供「運動技能の学習と障害」の授業



4月13日開講された「技術経営論入門」
＝工学部21番教室

16年度MOT科目開講

技術とマネジメント力を備えた技術者を養成するため、昨年度2科目で始まった自然科学研究科博士前期課程のMOT科目が、今年度から6科目の開講となった。そのMOT科目の必修科目のひとつである「技術経営論入門」の第1回講義が4月13日開講し、98名の学生が集った（昨年同講義初回65名）。用意した教室では座席が足りず急遽教室を移動。また、15日の同必修科目「技術マネジメント基礎論」でも、受講者は約120名に達した。4科目以上を修得した履修者には「MOTコース修了認定証」が交付され、2単位を上限として博士前期課程の修了要件に組み込みを可能としたことにより、学生の人気を集めた。また、社会人も科目等履修生として3～4名受講している。

角間ランチョンセミナー 毎日開講

大学教育開発・支援センター主催の角間ランチョンセミナーが今年度も始まった。今年度は試験期間中を除き、授業のある日は毎日開催されるが、4月は「ネットワーク利用の心得－ウイルスに注意－」など、主として新入生に対するガイダンス的な内容が中心であった。5月は留学生センター及び外国語教育研究センターの共催により、国際交流月間として、留学生などの報告が続く。



4月19日、「ネットワーク利用の心得－ウイルスに注意－」
＝総合教育棟A1講義室

トピックス

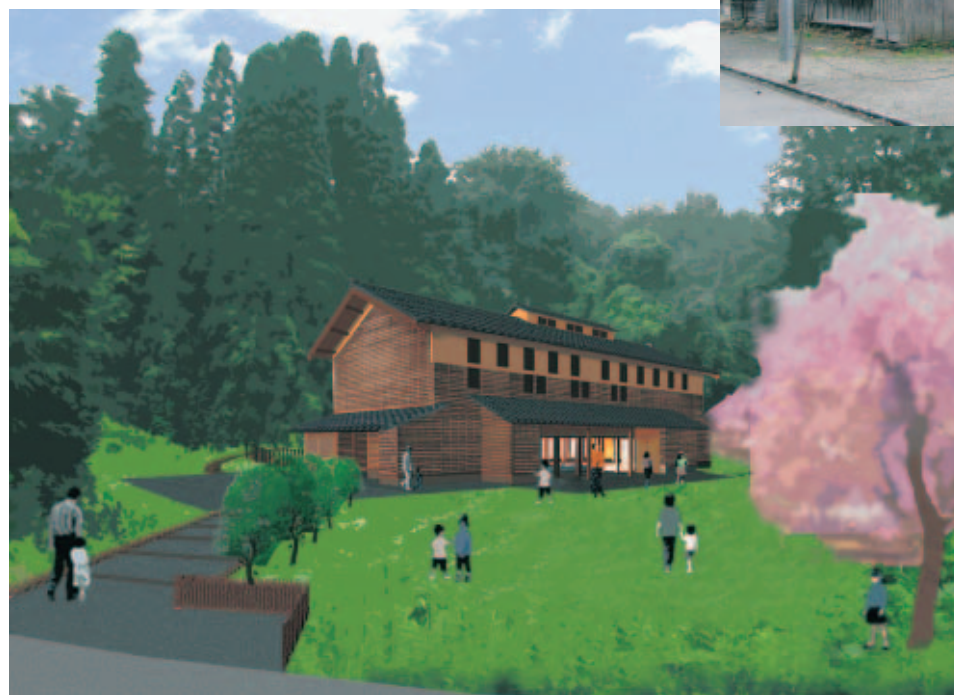
角間キャンパスに 金沢大学創立50周年記念館(仮称)を整備

金沢大学創立50周年記念事業の1つとして、角間キャンパス入口付近に記念館を整備することになり、4月23日橋本哲哉理事が記者発表した。記念館は、白峰村桑島にある旧山口新十郎家を解体して、角間キャンパスの50周年記念エリアに移築される形で整備される。

この記念エリアの近くには、昔から市民に親しまれる里山ゾーンがあり、本学ではこの恵まれた自然を教育研究活動に利用するとともに、角間の里山自然学校活動として、地域住民や青少年の



白峰村にある旧山口家



移築後の記念館完成図

自然体験の場として、様々な里山活動に取り組んできた。

橋本理事は、「この記念館を里山活動を支援するための拠点施設として整備し、屋内活動、道具類の保管、休憩・避難などに利用するとともに、里山活動のみならず、本学の地域連携・社会貢献の基地として利用していきたい」と説明した。

幼稚園児、馬とふれあい

4月30日、春のうらかな陽気の下、附属幼稚園の子どもたちが遠足で角間キャンパスを訪れた。園児らはアカンサスインターフェイスを渡り馬術部の厩舎へ。馬術部員の指導のもと、おっかなびっくり馬たちにご馳走をプレゼントした。自分の手から直にニンジン^{きゅうしや}を食べてくれる馬たちの姿に、歓声を上げてはしゃぐ子どもたち。

次の目的地は教育学部前広場。今度は自分がお昼ご飯にありつく番だ。

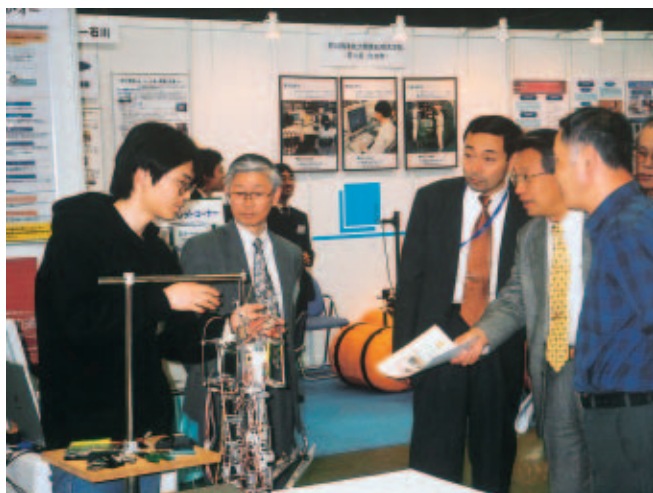


ドキドキしながらニンジン^{きゅうしや}をさしたす園児＝馬術部厩舎

「MEX金沢2004」に出展

4月15日から3日間、石川県産業展示館で「MEX金沢2004」が開催され、本学からは工学部の4研究室、共同研究センター、KUTLO及び金沢大学フォーミュラ研究会が合同で出展した。

3日間で前年を6千人上回る延べ6万3千人の来場があり、本学の研究成果の実演紹介等に対して来場者から多くの質問が寄せられた。



実演紹介「スキーロボット」
＝工学部米山研究室



実演紹介「携帯動画端末応用・低消費電力画像符号化LSI設計技術」＝工学部吉本研究室



実演紹介「産業用ロボットを用いた自動面取りシステム」＝工学部浅川研究室



実演紹介「位置決め機構、カム機構」
＝工学部尾田研究室



フォーミュラカーの展示
＝金沢大学フォーミュラ研究会

研究

「フロンティア科学研究機構」構想を紹介 ー平成16年度第1回先端研究フォーラムー



フロンティア科学研究機構創設の背景を説明する林学長
＝総合メディア基盤センタープレゼンテーション室

本学では、21世紀に推進すべき重要な研究を行う横断的組織「フロンティア科学研究機構」の創設を計画しており、その第1弾として、学際科学実験センター、医学系研究科、自然科学研究科及び社会環境科学研究科等の研究者30～50名により、「人の心の発達、学習、記憶とそれらの障害」を解明する脳研究を進めることが、4月23日の第1回先端研究フォーラムで紹介された。フォーラムでは、林学長が機構創設の背景を、医学系研究科の東田陽博教授が、このプロジェクトを16年度の21世紀COEプログラムに申請したことを説明。また、文系と理系の教員2名が脳科学の研究について講演した。

世界の論文引用動向ランキング 国内16位、世界347位

4月5日、トムソンISI社が発表した日本の論文の引用動向1993－2003によると、本学は日本で16位、世界で347位にランクされ、被引用数は77,641回、引用された論文数は8,333本、平均被引用数は9.32回だった。これは、同社が1993年1月から2003年12月までの学術論文のうち被引用数の高いトップ1%の論文を対象に引用動向を調査、世界の研究機関ランキングから日本の研究機関を抽出・再集計し、日本のトップ20機関を発表したもの。昨年と同じ調査では、本学は日本で15位、世界で344位で、今年新たに20機関にランクインしたのは、産業技術総合研究所と岡崎国立共同研究機構（現：自然科学研究機構）の2機関。

ウォータージェット学会論文賞

4月16日、自然科学研究科の平尾政利教授と浅川直紀助教授らは、ウォータージェット学会から論文賞を受賞した。論文「アプレシブジェット加工に関する研究－加工前後の砥粒の変化と加工特性－」が優秀と評価されたもの。



平尾教授



浅川助教授

日本機械学会北陸信越支部 「貢献賞」及び「優秀講演賞」

3月16日、自然科学研究科の尾田十八教授は、日本機械学会北陸信越支部「貢献賞」を受賞した。長年の支部学会活動に対する貢献が評価されたもの。

また同日、自然科学研究科の酒井忍助手は、日本機械学会北陸信越支部「優秀講演賞」を受賞した。「ニューラルネットワークを用いた変化球制御ピッチングマシンの開発」の講演が高く評価されたもの。



尾田教授



酒井助手

日本機械学会賞(論文)

4月9日、自然科学研究科の尾田十八教授と坂本二郎助教授は、日本機械学会賞(論文)を受賞した。本学整形外科グループとの共著による「仙骨全摘出術後再建構造の力学的評価とその改良」の論文が、工学と医学の分野を越えた技術を集成したとして高く評価されたもの。



坂本助教授

4月のニュース

春の叙勲（本学関係分）



瑞宝中綬章
関 雅美（せき もとみ）
名誉教授，元教養部長



瑞宝双光章
西部万千子（にしづ まちこ）
元医学部附属病院検査部衛生検査技師長

4月29日，平成16年春の叙勲が発表され，左の2氏が栄ある勲章を受賞した。



タイ友好親善団が来学

4月27日，タイ南部のナコーン・シ・タマラート市にあるテエムウドオンスクサーパークタイ高校の生徒，教諭を中心としたタイ友好親善団一行14名が来学し，大村副学長のあいさつの後，角間キャンパス南地区で薬学部精密分子構築学講座，北地区で附属図書館，資料館を見学した。なお，同市からの来学は，昨年11月に続いて2回目。



附属図書館で，図書の自動貸出返却について説明



精密分子構築学講座で，本学の学習環境について説明

4月のニュース

第55回暁烏記念式・記念講演

4月29日、第55回暁烏記念式・記念講演が開催された。この行事は、松任市出身の宗教家暁烏^{あけがらす} 敏師^{はや}が、創設時の金沢大学に対して個人蔵書5万余冊を寄贈されたことを記念し、師^{しの}の遺徳を偲ぶため毎年行っているもので、今年は学内外から約80名の参加があった。

記念講演では、文学部^しの島^{しま} 岩^{いわ}教授が「聖なるものを求めてーある日本人僧と現代インド仏教運動ー」と題し、インドでのカースト制度の廃絶に尽くした日本人僧、佐々井秀嶺氏の半生などを紹介した。



講演する島教授＝金沢大学サテライト・プラザ集会室

医学系研究科に高峰譲吉博士 ゆかりの桜を植樹



博士ゆかりの桜を植樹する長谷川氏（右）、寺田氏（左）と福田研究科長（中央）

4月30日、幼少期を金沢で過ごした世界的科学者である高峰譲吉博士のゆかりの桜が医学系研究科玄関横に植えられた。

タカジアスターゼ、アドレナリンの発見で有名な高峰博士は、1912年、ワシントンのポトマック河畔に日本の桜を植樹しようとする計画に賛同。当時の東京市長に手紙で協力を求める一方、私財を投じて日本からソメイヨシノなどの苗木約3,000本を調達した。

博士生誕150年となった昨年、「高峰譲吉博士ゆかりの会」がその桜の子孫となる苗木5本を手に入れ、今回、そのうちの1本が医学系研究科構内に植樹されたもの。

植樹式では、同ゆかりの会の長谷川一夫会長、高峰譲吉博士顕彰会の寺田喜久雄理事（金沢大学名誉教授）とともに福田龍二医学系研究科長も土をかけ、約30名の関係者とともに博士の遺徳をしのびつつ、桜の成長を願った。

金大生協が本学に 30万円を寄附

金沢大学生生活共同組合は、本学に30万円を寄附した。4月23日、同生協の田中一郎理事長が、生協の経営状況や利用状況の報告に林学長を訪れた際に小切手を贈呈したもので、生協から本学への寄附は昨年に続いて2度目。昨年の30万円は、学生に憩いの場を提供しようと、総合教育棟前広場のベンチ3台の購入に充てられた。今回の寄附金も、学生部で使い道を検討することとしている。



握手を交す林学長と田中理事長＝学長室

サテライト・プラザで

ミニ講演 ややこしや～ややこしや～ －双子が出てくる文学作品の楽しさ－

- 月 日：4月10日
○講 師：志村 恵 文学部助教授
○場 所：金沢大学サテライト・プラザ講義室
○来場者：46名



公開講座

古典文学の受容と新生
主任講師：文学部上田正行教授

＝4月24日，
大学教育開放センター講義室



安全衛生講習会

4月21日，労働衛生コンサルタントの木田哲二氏を講師に，総括安全衛生管理者，衛生管理者，産業医，各部局の安全衛生事務担当職員を対象とした安全衛生講習会が開かれた。質疑応答では，具体的な業務内容について質問が相次いだ。



説明する木田氏＝事務局大会議室

新規採用者 オリエンテーション

4月23日，新規採用の事務系・技術系職員16名を対象にオリエンテーションが行われた。講義では，大学事務の基礎的事項や国立大学の法人化を始めとする大学を取り巻く様々な動き，勤務条件に関する事など，初任者として当面必要な知識を学んだ。その後，附属図書館と新たに完成した総合研究棟を見学し，出席者は，角間キャンパスの広さに改めて驚いていた。



講義に聞き入る出席者＝事務局大会議室

20年以上前の農法を再現！北谷に「苗代」

— 角間の里山自然学校 —



苗代づくりに精を出す地元農家の里山メイト

4月17日、北谷では「苗代」づくりが行われた。田に水を満たし、充分に耕耘機で鋤いた後、水を抜いて畝を作る。この苗床を板でならし、種籾を撒いて、その上に竹灰を撒く。竹灰は土壌の酸性化防止と保温の効果があるという。竹の支柱を畝に渡し、ビニールのカバーを掛けて苗床が完成した。田植えまでの間、天候に合わせカバーを開け閉めして苗床の気温を調節する。気配りの細やかな苗づくりは、地元の農家の皆さんの協力があつてこそである。

田植えは5月22日に行われる。

角間里山ゾーンに
入口看板・道標を設置

角間の里山ゾーンは、学生や大学関係者だけでなく、広く市民にも開放されているが、実際には多くの学生が入口さえ知らないのが現状である。少しでも多くの人が里山に入り、身近な自然を体験できるように、入口看板と道標が設置された。入口の名称には「ハナシヤコ」、「オカタコ」といった、角間地域の古い地名を生かした。この看板をみつけたら、その先の道をたどってみよう。新緑の里山を少し歩くだけでも小さな発見がたくさんあるはずだ。



記事訂正

平成16年度4月16日発行の9頁新任部局長紹介欄で、理学部長のお名前を「中尾慎太郎」と記載しましたが「中尾慎太郎」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

編 集 後 記

さわやかな風を受けて馬にまたがる学生も角間キャンパスの一風景です。

国立大学も100年に1度の法人化の大改革を経て、これからは法人として大学の存在意義を社会へアピールするとともに、大学としての独自性を追求する競争環境に入ったといえます。金沢大学が環日本海の基幹大学として、今の時代に世界が求める人材の輩出に貢献するには、これからの3学域構想の実現が期待されるところです。

また、町が人を創るともいいます。400年前からの武家文化を受け継いだ歴史と伝統の金沢の町が、いかに21世紀を担う人材の育成に魅力的に関わるかに期待したいと思います。

(Kuro)

平成16年5月21日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
編集 金沢大学広報室

TEL 076-264-5024
FAX 076-234-4015

◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」(愛称“KUPIS”(キューピス))
(アドレス=<http://www.kanazawa-u.ac.jp>)でもご覧いただけます。
◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。